

ピンポイントゲートブシュ 内径SR

-B寸固定タイプ- ノーマルタイプ・先端鋭角タイプ

内径SR B寸固定タイプ



RoHS10 1A形状

先端拡大図

*P寸先端部には、0~0.2 (PGHB) 0~0.05 (PGHBZ) のストレート部が付きま

Type	寸公差
PGHB	±0.01
PGHBZ	±0.02

RoHS10 2A形状

先端拡大図

*P寸先端部には、0~0.2 (PGHB) 0~0.05 (PGHBZ) のストレート部が付きま

Type	寸公差
PGHB	±0.01
PGHBZ	±0.02

RoHS10 3A形状

先端拡大図

*P寸先端部には、0~0.2 (PGHB) 0~0.05 (PGHBZ) のストレート部が付きま

Type	寸公差
PGHB	±0.01
PGHBZ	±0.02

RoHS10 4A形状

先端拡大図

*P寸先端部には、0~0.2のストレート部が付きま

$R \geq \sqrt{(P/2)^2 + C^2}$ $V = 2 \times \sqrt{R^2 - (P/2)^2 - C^2}$

RoHS10 5A形状

先端拡大図

*P寸先端部には、0~0.2のストレート部が付きま

● 入口径 * α の計算方法 $\alpha = 2SR + 2(L - G - SR) \tan \frac{A}{2}$

Ⓢ 上記計算によって得られる寸法は理論(参考)値です。

型式	材質	硬度
PGHB□A PGHBZ□A	SKH51	59~61HRC

H	G	B	SR	型式		L 0.01mm単位	P	A°	K°	2A形状不要	1A形状のみ	3A形状のみ	4A形状のみ	
				Type	Shape					C 0.1mm単位	V 0.1mm単位	S° 1°単位	R 0.1mm単位	
3	0.7	3	0.60	PGHB (ノーマルタイプ) PGHBZ (先端鋭角タイプ)	1A	2	6.00~20.00	0.3 0.4 0.5 ^{(*)1}	1 20 30	0.2~0.4	1.3~1.9	1~45	0.4~0.8	
4	1.0	4	0.75		2A	2.5	8.00~25.00	0.3 0.4 0.5 0.6 ^{(*)1}		0.2~0.5	1.5~2.4		0.6~1.0	
5	1.2	6	1.00		3A	3	10.00~40.00	0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 ^{(*)2}		0.3~0.8	2.0~2.9		0.8~1.5	
6					4	0.8 0.9 1.0 1.1 1.2 ^{(*)3}		2.5~3.9		0.8~1.5				
8	1.5	10	1.25		(4A) ^{(*)4}	5	15.00~60.00	0.8 0.9 1.0 1.2 1.3 1.4 1.5 ^{(*)3}		0.5~1.5	3.5~4.9		1~50	1.5~3.0
9					6	1.0 1.2 1.3 1.4 ^{(*)3} 1.6 ^{(*)3}		4.0~5.9						
11					8	1.5 1.6		4.5~7.9						

Ⓢ 4A形状の場合、 $R \geq \sqrt{(P/2)^2 + C^2}$
 (*1) P0.5 (D2)・P0.6 (D2.5)はK20°のみ選択可。 (*3) P1.5・P1.6 (D5・D6)でK30°の時、Gは1.2です。
 (*2) P0.9 (D3)でK30°の時、Gは1.0です。 (*4) Shapeの()形状はPGHBのみです。

Order 注文例

型式	L	P	A	K	C	V	S	R
PGHB1A4	20.01	P0.8	A2	K30	C0.5	V3.0		
PGHBZ2A4	20.01	P0.8	A2	K30				
PGHBZ3A4	20.01	P0.8	A2	K30	C0.5	S30		
PGHB4A4	20.01	P0.8	A2	K30	C0.5	R1.0		
PGHB5A4	20.01	P0.8	A2	K30	C0.5			

Delivery 出荷日

● PGHB 3 日目出荷

● PGHBZ 3 日目出荷

☑ ストック A

Alterations 追加加工

型式	L	P	A	K	C	V	S	R
PGHB1A4	20.01	P0.8	A2	K20	C0.5	V3.0		
								CVC0.3

追加工	記号	詳細
	PKC	P寸公差を変更します。 P±0.02 → P±0.01 Ⓢ PGHBZのみ適用。
	CC	インロー用逃し(C面)加工をします。 D2・2.5 → C0.2 D3・4 → C0.3 D5~8 → C0.5
	CVC	インロー用逃し(C面)加工をします。 CVC=指定0.1mm単位 $0.2 \leq CVC < \frac{(H-D)}{2} - 0.1$

■特長

<先端拡大写真> <先端拡大図>

先端鋭角タイプ 先端鋭角タイプ ノーマルタイプ

ノーマルタイプ

- 先端に0~0.2mmのストレート部が付きま
- P寸公差が±0.01です。

先端鋭角タイプ

- 先端に0~0.05mmのストレート部が付きま
- P寸公差が±0.02です。
- ノーマルタイプよりストレート部が少ないため、ゲート残りを抑制できますが、耐久性が劣る場合があります。

